

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 1275000097 | | |
| 法人名 | 有限会社 たすけあい | | |
| 事業所名 | グループホーム たすけあい | | |
| 所在地 | 千葉県香取市岩部1095-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成25年11月30日 | 評価結果市町村受理日 | 平成26年1月31日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-----------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人ACOPA |
| 所在地 | 千葉県我孫子市本町3-7-10 |
| 訪問調査日 | 平成25年12月18日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然があり静かな環境の中、利用者様の日々の食事は経営者が愛情込め作っている野菜を一年を通し提供しています。季節を通し収穫した野菜が食卓にあがり近くのいちご農園の方より毎年ジャム用に頂いたり、日々の食材ばかりではなく保存食様にイチゴ、ブルーベリー、ゆずジャム作りや大根が採れば漬物や切り干し大根、里芋が採ればずいき等利用者様と一緒に昔を思い出しながら作業に取り組む姿はみなさん真剣で普段はあまり見られない表情の方もあり職員も利用者様の意外な一面を見れる作業の一つにもなり毎年恒例の仕事になっています。今年も利用者様の入れ替えもあり全体的に利用者様の様子も低下気味であったのですがまた作業等できる方も入られたのでみなさんでの連携作業も出来るようになってきました。利用者様の体力や病気の進行もあり、全員で何かは難しくもなっていた為、個別のケアの充実を図りその人それぞれにとって良いケアに繋げるよう日々職員間での話し合いをしながら現在も取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

緑豊かな農村地帯に立地する1ユニットのホームである。①入居者の意見の尊重②地域に溶け込んだ生活の向上③笑顔のあるグループホーム④ボランティア・児童との交流の四つの理念を掲げ、恵まれた立地や小規模の特徴を生かした家族的なホーム運営が実践されている。職員のチームワークによる温かみのあるケアは利用者・家族との信頼関係を作り上げ、来訪も多い。今回のアンケートにも全員から回答を頂き、各項目とも高い評価を得ている。家族との連携の良さが伺える。介護度が高まり一時的に入院したり、ホームで亡くられる方も出ているが、本人の希望に沿って最期まで家族のように支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 常に掲示しており、勉強会等にて職員に再度周知したりしながら実践に繋げている | 四つの理念と五つの職員心得をリビングに掲示し、常に確認しながら取り組んでいる。職員や利用者の顔も明るく、理念に沿った温かみのあるケアが実践できている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 経営者の自宅もあり定期的な地域ボランティアの訪問や外出には、地域のお店を利用したりしながらなるべく地域との繋がりを作っている | 理念に地域やボランティアとの交流を大切にすることを掲げ、地元のボランティアや児童の来訪を積極的に受け入れている。代表者は地元の方で地域とのパイプは太く、近隣の介護福祉施設等とも連携し、交流を図っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | ホームの季刊誌を配布したり野菜等近隣施設へ提供したり地域のボランティアや地域行事への参加を通し交流を図っている | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 会議だけではなく家族会や行事への参加もしてもらい意見を頂くことでサービス向上に活かしている | 運営推進会議は市の職員の参加も得て本年度は4回実施予定である。回数は指針より少ないが、多くの家族や地域の方の参加を得られるように工夫をして、本音を引き出せる会議運営に努めている。 | 本年度は運営推進会議の時に、広い中庭にかまどを用意し、おいしいご飯の炊き出しのイベントを実施し喜ばれたが、引き続きたすけあいらしい会議運営の工夫をお願いしたい。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 運営推進会議や行事への参加定期的な会議への参加を通し関係を密にしていけるよう取り組んでいる | 運営推進会議には毎回市高齢者福祉課に声掛けして、都合のつく限り参加いただき理解を深めている。また市職員が参加される各種の研修会や地域密着連絡会、ケアマネ連絡会などに積極的に参加し交流を図っている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 毎年の施設内の勉強会やカンファレンス身体拘束の研修への参加通し拘束しないケアに取り組んでいる | 毎月末に勉強会を実施しているが、「身体拘束をしないケアについて」の項目を年間研修計画の中に組み入れ理解を深めている。恵まれた立地環境を生かして、施錠も一切行わない開放的な運営がなされている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 勉強会での意識付けや研修への参加やカンファレンスでの話し合いを通し防止に努めている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 勉強会や研修への参加を通し必要時には話し合いの機会を持つことに取り組んでいる | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入所時には契約書の説明をきちんと行うことで理解をして頂いている | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議への参加や面会時には積極的に家族と係る事で信頼関係を作り意見を吸い取りケアに繋げている | ほとんどの家族が頻繁に来訪され、管理者・ケアマネが中心になって都度話し合い、家族の希望をくみ取っている。アンケートにも全家族から回答を得ており、信頼関係が出来ていることが伺える。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月のカンファレンスや日々のやり取りの中で話し合い意見を反映させている | 職員心得に、挨拶・笑顔・自己向上・相手の気持ちに立つ・感謝をこめてを挙げている。これらの実践によりホーム内の人間関係はよく、風通しの良い働きやすい職場となっている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 毎月の内部研修や個々に外部研修に参加することを進め研修参加状況や自己評価表の実践を通し取り組んでいる | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内部研修や外部研修への参加を積極的に進め参加状況を評価している | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 定期的な会議への参加や毎年地域での交流会への参加や勉強会等積極的に参加し取り組んでいる | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 常に話を聞く事がかかわりを多くもつことで信頼関係を築いている | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 常に情報収集に心がけ話をすることで不安、要望に応えていけるよう努めている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | よく話をすることで今必要としている事要望を見極めている | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 個々それぞれの話を聞くことで信頼関係を作っている | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時なども積極的に家族と係る事や定期的に状況報告や相談を通し環境作りに努めている | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 外出時にはなるべく地域でのサービスや地域ボランティアとの交流や地域行事への参加等支援に努めている | 家族や知人の訪問が多く、地域の行事にも出来るだけ参加している。近郊のボランティアや子供会との交流、馴染の場所へのドライブ等の他、季節野菜を利用してジャムや切干大根、漬物、ずいき作りなどを利用者と一緒に等、出来る限り馴染みの関係が継続できる支援に努めている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 常に寄り添う姿勢を持つことで利用者様との関係を保つことに努めている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | その後の近況報告や情報をやり取りしながら必要に応じ相談や支援に努めている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | よく話を聞くことでコミュニケーションを図り不安や要望等気持ちをくみ取るようにしている | 利用者一人ひとりの話を良く聞き、しぐさなどからも本人の思いや意向をくみ取り、理念の一つである「笑顔のある生活」を送れるよう工夫している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 家族からの情報収集やご本人からの話を聞くことで安心できる環境作りに努めている | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | ご本人の状況を把握しご本人のペースに合わせてながら支援している | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご本人の情報や家族の要望等カンファレンスにて話し合い介護計画に繋げている | アセスメント・介護計画の作成・定期的なモニタリングはケアマネージャーが中心となり、関係者と話し合って実施している。家族の来所時には介護計画を説明し、話し合い了解も頂いている。毎月のカンファレンス時に勉強会を実施しているが、職員が持ち回りで講師を担当し、スキルアップに努めている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 申し送りや話し合いの中で情報の共有化を図っている | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | その時その時の状況にて対応している | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域医療への受診や行事への参加外出支援ボランティアとの係り等を通し支援している | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 定期的な通院や通院できない方への往診を通し関係を築き支援に繋げている | かかりつけ医への通院は家族や職員が行っている。かかりつけ医には通院できない方への往診や緊急時の指示が仰げ、適切な医療が受けられる関係ができています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 定期的に看護職員の配置にて支援している | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 常に家族との連絡や定期的な面会にて医療機関との情報共有を図り支援に繋げている | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 家族との連絡を密にし今後の方向性を話し合うことで支援をしている | ホームでの看取りを行っており、医師・看護師との連携体制も出来ている。入居時には文書も交わしているが、状態に応じて家族との話し合いを重ね、意向を尊重した支援が出来るよう取り組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 定期的な勉強会や緊急時マニュアルを掲示し対応している | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的な訓練を実施し職員の意識付けも行いながら体制を築いている | 消防署指導の下での避難訓練と自主訓練を毎年各1回行っている。避難場所は中庭で、夜間想定訓練も行っている。食品の備蓄もされ井戸水も確保でき、近隣に住む職員や住民との協力体制も出来ている。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|----------------------------------|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 個々それぞれに対応した言葉かけに配慮している | トイレや入浴の誘導時の声掛けはプライバシーに配慮した対応を心掛けている。一人ひとりの状態に合わせた個別ケアを充実させている。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 常に話を聞きながらご本人の気持ちをくみ取るよう働きかけている | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人のペースに合わせてながら気持ちを汲み取りながら支援している | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご本人の要望に合わせて支援している | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 個々それぞれのできる事を探しながら行っている | 厨房の専門スタッフの他職員が交代で食事を担当し、畑で取れた新鮮な野菜を使って調理している。取れた野菜は訪問した家族にも配っている。利用者も出来る事を行い、笑顔で食卓を囲んでいる。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個々それぞれの状況に合わせてながら支援している | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後の口腔ケアの実施や必要に応じ訪問歯科も行っている | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個々それぞれに合わせながら排泄パターンを把握しご本人の無理のない体制を作っている | 利用者の半数は布の下着を使用しており、トイレでの排泄を支援している。おむつやパットの利用者にも本人の排泄パターンを把握し、不快が無いように工夫している。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 個々それぞれの排泄パターンを把握し水分の調整や必要に応じ排便を促す対応を施行し予防に取り組んでいる | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | その時のご本人の状況等無理強いせずにごの方にそった支援をしている | 入浴は日曜日以外の午後で身体状況に合わせた支援を行っている。明るい個室のお風呂場は浴槽もゆったりし入浴を楽しんでいる。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | ご本人のペースに合わせてながら対応している | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 常に服用している薬の把握ができる様にしており定期的に受診することで主治医との連携を図りながら変化の確認に努めている | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 個々それぞれの状況を把握しながら支援している | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | その時の状況やご本人の様子にて対応している | 身体状況に合わせた個別の外出支援を行っている。普段から家族の訪問は多く、通院の同行、外出の機会も有る。ホームでは季節の行事や地域との交流に積極的に取り組んでいる。外食にも出掛け、生活が単調にならないよう中庭での外気浴等も工夫している。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 個々それぞれのお小遣いを預かっている為 ご本人の要望に応じ対応している | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | その都度対応している | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節感や利用者様同士が居心地の良い空間を作れるよう日々取り組んでいる | リビングの吹き抜けは明るく伸びやかな空間になっている。毎朝、職員と一緒に共有部分と居室の掃除を行い、季節に応じた飾りつけもされている。庭への出入りも自由にでき、リビングの席順は固定せず居心地よく過ごせるよう工夫している。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 座席の配置の変更など利用者様の状況を汲み取常に良い環境作りに取り組んでいる | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人のなじみの物を置いたりすることで安心できる空間づくりに取り組んでいる | 馴染みの物や使い慣れた物を持ち込んでい る。利用者が家庭の延長のように安心して過 ごせるよう、家族と相談しながらクローゼット の衣類の入れ替えや片付けを行っている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 場所を掲示したり声掛けにより習慣になった 行くことで自立した生活が送れるよう取り組 んでいる | | |